

令和6年度 江戸川区立 鹿骨小学校 『特別の教科 道徳』 教育全体計画

【法的根拠】 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領	学校の教育目標 自立と貢献 ・よく考える子 ・思いやりのある子 ・じょうぶな子	【地域の実情】 【学校の実情】 【児童の実態】 【教師の願い】 【保護者の願い】
--	---	---

本校の道徳教育の重点目標
 1 60周年記念式典、閉校式典に向けた取り組みと道徳を関連付け、学校愛着をもたせる指導を展開し、学校にかかわる様々な人々への感謝と敬愛の念を深める。
 2 児童が互いを認め合い、よりよい学校を作っていこうとする心を醸成できるよう活動を充実する。

各学年の指導の重点		
第1学年及び第2学年 身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。	第3学年及び第4学年 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。	第5学年及び第6学年 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める。

各教科	特別の教科 道徳	外国語活動
国語 表現力 豊かな心情 社会 郷土を愛する心 公民的な資質の基礎 国土と歴史に対する理解と愛情 算数 合理的・論理的な追及態度 理科 生命の尊厳 生活 基本的な生活態度 自立への基礎 音楽 美的情操 崇高さ 図画工作 美的情操 家庭 家族の一員としての役割 体育 健康・安全 集団のルール 外国語 外国の人々や文化を大切にすること 読書科 身近な生活の中から疑問を見付ける	各学年の重点内容項目 1年 幼い人や高齢者、友達など身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにする。 2年 幼い人や高齢者、友達など身近にいる人に広く目を向けて、温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考えを深められるようにする。 3年 友達のことを互によく理解し、信頼し、助け合うことで、健全な仲間集団を積極的に育成する。 4年 友達のことを互によく理解し、信頼し、助け合うことで、健全な仲間集団を積極的に育成する。 5年 様々な集団での活動を通して、集団を支えているのは自分たち自身であるということに気付かせると同時に、集団における自分の役割を自覚し責任を果たそうとする態度を育てる。 6年 様々な集団での活動を通して、集団を支えているのは自分たち自身であるということに気付かせると同時に、集団における自分の役割を自覚し責任を果たそうとする態度を育てる。 指導方針 ○児童の道徳的価値の自覚を促し、道徳的実践力を育成するよう、実践を踏まえた指導を行う。 ○豊かな体験活動と関連付けた指導の工夫をする。 ○資料の選択、活用の工夫をする。 指導の工夫 1 共感的な理解を基に心のたがやしを進める指導 2 友達と高め合い、自己を見つめる場を大事にした指導 3 ブロック学年による協力的な指導 4 地域等の人材、教育力を活用した指導	外国語を通じ、言語や文化について体験的に学ぶ中で、外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。 総合的な学習の時間 ○体験的な学習を通して主体的に学ぶ。 ○課題を自分とのかかわりで捉え、自己の生き方を考える。 ○身の回り自然や人、地域社会とのかかわりを豊かにする。 ○培った道徳性を体験的な学習等の実際の場面で生かす。 特別活動 学級活動 学級内の望ましい人間関係 児童会活動 集団の一員としての役割・責任と クラブ活動 創意ある活動への向上意欲・協調性 学校行事 集団の中で個人の在り方

生活指導
 ○児童相互、児童と教職員が互いに尊重し合う言動、場と時に応じた礼儀作法を身に付けた生活態度の定着を図る。
 ○月・週目標の達成に向けて自ら評価し、粘り強く取り組む態度を養う。

環境整備
 ○豊かな心情を養い、実践力の向上を図る。
 ○校内諸表示・栽培活動等。
 ○道徳の授業を充実させるための教材等の開発、整備を進める。

家庭・地域との連携
 ○道徳授業地区公開講座を実施し、道徳教育に対する共通理解を図る。
 ○家庭・地域の人材、教育力を活用し、連携して道徳教育を進める。

推進体制
 ○道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成し、道徳教育推進教師と中心に全教員が協力して行う。